

事業概要【若者から100歳まで全世代が活躍できる健幸まちづくり事業】

推進当初

申請者	山形県南陽市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	106,114千円 (28,583千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	まちづくり分野
目的 (効果)	人口減少に歯止めをかけるため、“健康都市”をまちのコンセプトに掲げ、あらゆる世代の誰もが、関わりや交流を持つ場所や仕掛け、活躍する機会をつくる。そして、その魅力を市民からPRすることで、“選ばれるまち”として、交流人口・関係人口を増やし、定住人口の維持・増加につなげる。そこで、本事業では、まちの魅力向上にむけて、中長期的なハード整備の効果を高め、かつ短期的な効果が期待されるソフト事業として、“インセンティブ健康施策”と“コミュニティ活性化施策”をパッケージ化した大規模なポピュレーションアプローチ事業を実施する。		
事業概要・主な経費	◆ウォーカブルを鍵としたコミュニティ活性化施策 ・生涯学習活動・観光イベント・スポーツ運動教室、ウォーキングツアー等の企画 ・オリンピックによるスポーツPR、定住促進むかシンポジウム開催 ◆子育て×運動・健康によるウェルネス向上策 ・商工会等と連携した市内企業に対する健康施策への参加促進 ・子育て世代 (特に女性) に対するエンディング教室への参加促進 ◆まちの魅力発信力の強化 ・市民活用促進・ヘルスレジャー向上にむけた健幸アンバサダー養成 ・参加者2500人による本市の魅力の再認識と情報発信 ◆健幸まちづくり施策を促進させるためのインセンティブ健康プログラムの実施 ・若者から高齢者まで市民1割2500人が参加を目標に実施 【経費：令和6年度 28,583千円】 コミュニティ活性化施策 (スキーム構築・事業計画策定) 3,850千円 情報発信にむけた基盤構築 15,619千円 住民の情報発信力の強化 842千円、事業評価 2,475千円 消耗品・その他経費・拠点整備他 5,797千円 定住人口の増加 (人口減の抑制) 交流・関係人口増 ⇒ブランド化 まちの魅力向上のため ハード整備・ソフト事業の充実 企業の健康経営支援 ⇒雇用促進 市民からの情報発信 ⇒まちの魅力UP 子育て世代の コミュニティ参加促進 ⇒子育て支援 健幸アンバサダー養成 ⇒情報発信力UP 地域コミュニティの活性化・コロナ禍前の賑わいづくり ⇒外出促進・生涯活躍 インセンティブ健康プログラムに市民2500人が参加 ⇒データ収集・属性別の情報提供の仕組み構築 ⇒健康寿命延伸による社会保障費1億円抑制 政策経費獲得		
KPI	①地域の人口・世帯の減少数 (▲470人) ②健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数 (+200人) ③インセンティブ健康施策の参加者数 (+2,500人)		
関連URL	調整中		

